会議録（第５回スローライフてらまち運営推進会議）

作成者　柳澤　民子
作成日　令和３年　１月　31 日

期　　日	令和２年　12 月 18 日（金）	時　　間	午後　時　分から午後　時　分
場　　所	コロナウィルス感染予防対策のため書面にて開催		

会議要旨

議題	1. 開会挨拶
	2. 議題 ① 活動内容報告 ② ヒヤリハット事故報告 ③ 意見交換 ④ その他
	3. 閉会挨拶

1. 開会挨拶
書面にて報告のため、割愛します。

2.議題
１）ファミリア活動内容報告
グループホーム活動内容報告
別紙参照

２）ファミリアヒヤリハット・事故報告
グループホームヒヤリハット・事故報告
別紙参照

３）意見交換

① 施設活動内容について　②事故・ヒヤリハット報告について　③その他

・市職員　①写真を見ると、利用者様が喜ばれているのが伝わってきます。冬の間は室内での活動となりますが、利用者様が喜ばれる活動を今後もお願いします。

②前回も服薬の報告がありましたが、服薬誤りについては、命にかかわるケースにつながる恐れがあるため、あらためて確認の徹底をお願い致します。

③新型コロナウィルス感染症が猛威をふるっていますが、今後もより一層の感染症防止対策の徹底をお願いいたします。

・ファミリア管理者　・コロナウィルス感染症で自由に移動できない時間が続いておりご利用者においてはストレスがあるのではないかと感じていますが、そんな中でもドライブに出掛けたり、運動会開催したりとストレス発散の場を設けてきました。

これからも息がつまらない生活を送りたいと考えています。

・服薬重大事故に関しまして、薬の事故が続いていますので、再度、薬の大切さと怖さの理解と業務内での服薬の優先順位の上位性の理解を深め、ヒヤリハット提出毎に検証を行っています。事故防止に重点を置き注意喚起を継続していきます。

・市職員　①避難訓練の実施、お疲れ様でした。今回は地震・津波を想定した訓練との事でしたが、今後も定期的に避難訓練の実施をお願いします。災害が起きると通常の判断ができなくなることが想定されます。避難場所、避難経路、避難方法の他に、災害時の職員の体制や指揮系統についても再確認をお願いします。

②特に無し

③新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていますが、今後もより一層の感染症予防対策の徹底をお願い致します。

・グループホーム管理者

・今年度の避難訓練は新型コロナウイルスの予防もあり、施設職員のみで実施しました。職員同士の連携や、緊張感をもって実施するよう努めました。避難場所や経路についても訓練後に改めて周知を行いました。

・出席者	①各種行事は利用者を中心において工夫されており楽しい様子を嬉しく思います。 ②状況に対して真摯に検討されていますので、結果をもとに再発防止をお願いします。 ③春先からのコロナ禍で当たり前の日常が突然変わりました。 外出自粛やソーシャルディスタンスで周りから人が消えてしまいました。孤独と不安を与えないようによろしくい願いいたします。
・ファミリア管理者	・ 行事開催の前に全てのご利用者に参加して頂けるように職員が立案し当日スケジュールからどうしたら楽しんでいただけるかを話し合っています。直接関わる時間以外でもご利用者のことを考えている時間が多いと感じています。これからも職員が考えたことが形となるように応援したいと考えています。 ・事故に関しては再発防止策の徹底と、ヒヤリハットの検討が重要と考えていますので、毎週末にヒヤリハットの検討会を行い、情報の共有が出来るようにしています。 ・ コロナウィルスによる自粛規制があり、関東圏のご家族が帰省できずにいる中で、小規模としてサービス調整を行いながら、ご利用者、ご家族が安心して在宅生活が送れるようにお手伝いさせていただいています。
・出席者	①単調な日々に潤いのある活動、活き活きとした姿に嬉しく思います。 ②24 時間の献身的な介護、気が抜けなく、お疲れ様です。気が休まることがないと存じますが利用者中心によろしくお願い致します。 ③利用者も家族に会えないのはつらいことですが、安心・安全で過ごせるのはありがたいことです。よろしくお願いします。
・グループホーム管理者	・ご家族様にも、面会の制限をお願いする日が続いています。オンラインでの面会を案内させていただき、何件か申し込みも来ています。毎月のお手紙でも、日々の生活の様子が伝わるよう工夫をしています。

・出席者　①毎回写真を拝見させていただき、楽しんで頂くにはどうしたらよいのか考えられ工夫されている光景が伝わってまいります。入居されている方々も幸せ気分で過ごされているのではないでしょうか。うれしいことです。
②毛玉を口に入れようとなさった、早めに気付かれてよかったですね。もしのどにひっかかってしまったらと思うとゾ～ッとしてしまいます。パンツ洗ってしまった。ポケットティッシュ洗い大変な事態になり家族の気持ちわかります。
③大変なお仕事入居者様の為に頑張って下さい。よろしくお願い致します。

・ファミリア管理者　・ご利用者の方々の趣味や好きな事を日頃の会話の中から聞き情報として活かし行事を行うなど、職員の日々のかかわりからご利用者の笑顔が見られるのだと思います。日々の業務のほかに、自分の出来ることを職員は考え、頑張っています。
・職員の「後でやろうと思った。」がご家族にご迷惑をかけてしまう事を新人職員は学びました。気づいたらすぐやる。を徹底します。

・出席者　①子供にかえるのですね！皆様の外での嬉しそうなお顔、避難訓練での頭にかぶっている三角帽子（可愛いです)。調理レクなど毎回新鮮な気持ちで拝見させていただいておりました。
②ちょっとしたスキの出来事が大きな惨事になる可能性もあり気が抜けませんが、よろしくお世話をお願い致します。
③かえすがえす、大変なお仕事、私もお世話になるかもしれません。その時はよろしくお願い致します。

・グループホーム管理者
・避難訓練では、GH 入居者様にも全員参加していただきました。訓練中怪我の無いように努め、実際に災害が起こった時の動きを確認できました。実際の災害ではよりパニックになることが予想されますので、皆様を落ち着かせる声掛けの重要性を再確認しました。レクリエーションでは季節に合ったイベントを企画し、外出のできないこの時期でも季節感を感じていただけるようにしています。

・出席者	①コロナ禍の中で工夫をされドライブに行かれたり皆様が喜ぶ様子が目に浮かびます。 大雪、コロナと大変な時期ですが職員の皆様もお身体に気をつけ業務を行って下さい。 ②コール対応のピッチがマナーモードになっていたようですが、マナーモードに切り替えすることが日々の業務であるのでしょうか？コール対応する携帯であれば、マナーモードにしないほうが良いのではないですか。 ③特になし。
・ファミリア管理者	・中国武漢でのコロナウィルス感染症のニュースが流れて一年が経ちました。毎日毎日、自身、家族、ご利用者、ご利用者家族の体調確認や検温など感染症予防策に努めて、感染症の報告なく一年終えることができました。来年度も職員一同感染症予防策に努め、元気に過ごしたいです。 ・コール対応のピッチをマナーモードにすることはあり得ません。ピッチは首から下げずに、ズボンのポケットに入れて業務を行います。(9 月の事故以降、胸ポケットには物を入れない事を決めました)。検討では、職員がおむつ交換時に前傾姿勢となった時、ポケット内でベッド手すりと職員の間に挟まれてマナーモードになってしまったのではないか。と意見があがりました。おむつ交換前のナースコールは鳴っていた。 夜勤交代時にはマナーモードになっていないかの相互確認行っています。
・出席者	①特に無し。 ②ヒヤリハット①はどのような事故につながると予測されたのでしょうか？②は以前にも同様にホールに残った職員の伝達が不十分だったことがあったと思います。重大事故の背景に 300 件のヒヤリハットがあるといわれています。以前の検討内容が周知されていないことも予測されます。具体的に対応策を考えてください。 ③特に無し。

・グループホーム管理者

・ヒヤリハット①についてですが、トイレ以外で排尿された場合、床や椅子で滑って転倒の危険が考えられます。
また、衛生面や他者の私物の汚染等の観点から報告があがりました。ヒヤリハットの周知に関しては、毎日の朝、夕申し送りでの伝達をファイルを見ながら必ず行うようにしました。また、毎月の GH 会議にて特に注意が必要なものをピックアップし再度職員に知らせています。

ご意見は全て原文のまま掲載しています。